

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第一部 海鷹丸航海調査報告 平成16年度(2004年度)
第15次航海報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/277

4.6.1.4 フリマントル港入港報告 (Report of Fremantle)

1. 概要

2005年1月25日～1月30日、海鷹丸はオーストラリア西岸、Fremantleに入港したので報告する。

2. 入港

2005年1月25日、ロットネスト島の北西から入港した。

8時25分 スタンバイがかかり、乗組員・学生は入港配置についた。フェアウェイ・ランドホールブイを099度、1.0マイルにみてCo.143に変針。

8時49分 No.3ブイを046度、0.6マイルにみてCo.153に変針。

9時00分 ホールバンクブイを066度、1.8マイルにみてパイロットが左舷より乗船。パイロットボートは1隻。パイロットの名前は Vincent Nolan(ヴィンセント・ノーラン氏)。(Photo. 1,2)

9時17分 防波堤を通過。(Photo. 3) エンジンを微速前進にした。

9時34分 最初の係船索をフリーマントルヴィクトリアD岸壁に取った。

9時44分 本船を左舷付けにて岸壁に係留した。F.W.E 9時54分 パイロット下船。綱とりのボートは初めて見る形をしていて非常に興味深かった。(Photo. 4)

入港中、他の船も何隻か目撃した。その中に一風変わった船があった。羊を輸送する羊船、Sheep Shipである。(Photo. 5) この船はクウェートの船で、本船の隣と向かいの岸壁に停泊中であつた。向かいの船は本船入港の際には既に羊を積んでおり、我々の停泊中に出港していった。



Photo. 1 Pilot Boat



Photo. 2 Pilot



Photo. 3 Break Water



Photo. 4 Mooring boat



Photo. 5 Sheep ship

2. 岸壁

まず目に入ったのは多数の輸入車(HONDA)が駐車していた。

フリマントル駅が岸壁の目前にあり、スーパーも近くとても便利な場所に位置している。

トイレも完備されていた。船からゲートまでは約 200m 位であった。ゲートにはインターホンとカメラが設置されていて、岸壁から出るときは簡単で出ることができるが、入るときはインターホンを押し、身分を証明できるものや ID カードなどをカメラの前に提示する必要がある。

ゴミ箱は大きなポリバケツが 6 個設置されていて、毎朝収集に来る。ゴミを全て収集した後でゴミ箱を消毒する。分別し袋詰めした可燃・不燃・ビン・缶を同じゴミ箱に捨てる。

本船入港時の喫水は、船首が 4 m70cm、船尾が 5m90cm で、ビット間隔は長い間隔 18m15cm 短い間隔 4m65cm、ビットの高さは 40cm。岸壁サイドはウッドフェンダーが設備されていた。(Photo. 6.,7,8)



Photo.6 Garbage track



Photo.7 Bit



Photo. 8 Wharf and station

3. 入港手続き

検疫は無線検疫により入港前に済ませ、税関・入管は来賓扱いのため省略された。また、病人の有無を尋ねられ、いないことを確認した。船内から岸壁に上陸する際には服や靴を

きれいに(泥などが一切付いていないように)するよう注意された。岸壁のゲート出入りに関しては、学生も顔写真付の ID カードを作成し、ゲートで提示すること、また常に携帯するよう指示された。さらに領事館にもっていくお土産(中身はお菓子)についても、包装紙を取って箱の中身を確認した。これらの注意が一通り終わると検疫官は船内をまわり以下のことをチェックした。

- ・ギャレーのディスポーザーのシール
- ・ 食料庫の鶏肉、卵、マヨネーズのシール
(陸岸より 12 マイル離れたら、開封可)
- ・ 鶏肉については、パラグアイ、ブラジル
- ・ 産でないことの確認。
- ・ ゴミ箱の確認



Photo. 9 Seal disposer Photo. 10 Seal eggs

4. 燃料の積み込み

今回は MGO (マリンガスオイル、日本で言う軽油) を積み込んだ。予定積み込み量は 320KL であったが、油の温度が 27 度であったので 15 度換算で実際は 325KL 積み込んだ。定格速度 1.5KL/min で、約 4 時間で給油を終了した。積み込み方法は、岸壁に設置されたパイプ (今回は船尾付近) に業者が車で持ってきたホースを使用して、積み込んだ。業者は、Fremantle Bunkering Service で 2 年前入港した時も同じ会社だった。

積み込み作業は、ジョイントの下に油受けを置くことやエア抜きで漏れの確認などを言わなくてもやってくれるなど、抜かりの無い作業だった。(Photo. 11,12,13,14,15)



Photo. 11 Water Valve



Photo. 12 Supply Water



Photo. 13 Connector



Photo. 14 Counter



Photo. 15 Horse

5. 出港

2005年1月30日フリマントル出港した。

入港と同じ航路を逆に航行していった。(Photo. 16,17)

8時56分、パイロット **Loger G Pattman** 乗船。出港用意、総員配置につく。

9時02分、シングルアップ。9時08分、すべての係船索をレッコした。

9時24分、No.1 ブイを 208° 、0.1マイルに見て Co. 330 に変針。

9時28分、パイロット下船。

9時44分、スタンバイが解除された。

9時45分、No.3 ブイを 40° 、0.2マイルに見て Co323 に変針。

9時58分、Fremantle Fairway Landfall を 88° 、0.8マイルに見た。

10時33分、Cape Vlemingh L.H. を 170° 4.1マイルに見て Co. 200 に変針。

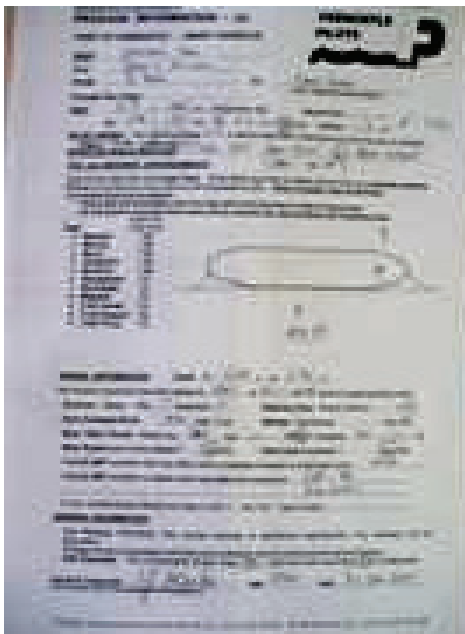


Photo. 16 ISPS of document

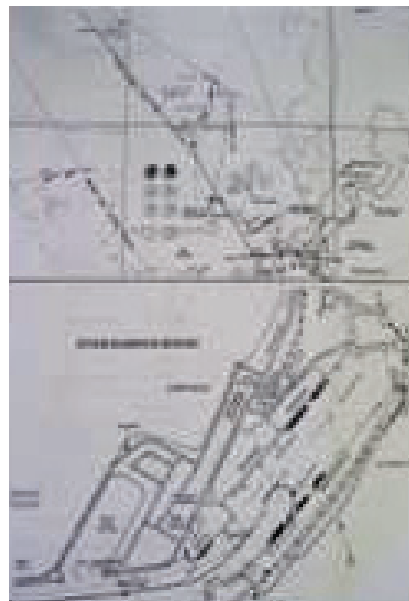


Photo. 17 Wharf equipment guide